

Victory

NO.3

令和7年6月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

*学校 HP > 学校図書館 > #図書館の日常随時更新中

水無月、美しい響きです。今日は二十四節気の芒種（6月6日ごろ）と夏至（6月21日ごろ）を迎えます。時間に追われ、気がつけば一日が終わっている…という慌ただしい毎日を送ってしまいがちな私たちですが、「時」について考えるにふさわしい月でもあります。6月9日は「時の記念日」。せっかくなので「暦（れき）」についても目を向けてみましょう。

日本に入ってきたのは、欽明天皇の時だとされ、推古10（602）年に百済の僧が暦本を献じたと日本書記には記されているとあります。（ジャパンナレッジSchool『日本大百科全書』参照）歴史観点から「暦」について知るのもおもしろい発見があると思われます。また、自然科学分野の440天文学・宇宙科学の449に時法・暦学という分野がありますので、興味を持った人は、図書館で本を探してみてください。

「Time is money」（時は金なり）、与えられたあなたの時間を大切に。



お知らせⅠ

新しい本が入っています。

5月に入った本の紹介を図書館廊下の掲示板に貼っています。なお、図書館クラスルームおよび学校HPにもアップしています。各自でアクセスして、どんな本が入ったか確認してください。

お知らせⅡ

購入希望図書受け付けます。

今年度も第1回目の図書委員
店頭購入に行きます。

昨年同様、図書委員がGoogle フォームで作成した「購入希望調査」からどしどしリクエストしてください。「読みたい本」、「研究テーマに関連する本」、「部活動関係」などさまざまなジャンルの本を受け付けます。6月28日（土）までに回答して下さい。

先日、登録してもらった「Library Labo～図書館ルーム～」「Library Labo II～図書館ルーム～」にリンクを貼っていますので、そちらから登録してください。たくさんの要望をお待ちしています。



「はたらく図書委員Ⅰ：展示」

今月もフル稼働の図書委員。現在、2つのコーナーを作成・展示しています。「教科書で出会う文豪」コーナーと「これぞ青春！おすすめ本」コーナーです。いずれも力作です。ぜひ図書館に足を運んでください。学校HPの#図書館の日常（ブログ）に詳細は書いていますのでぜひ、見てください。



↑文豪（芥川龍之介・中島敦）コーナー



↑青春コーナー

「はたらく図書委員Ⅱ：朝読」

今月は、朝読時に各クラスに向けてこんなことをしました。

7月8日読書活動に向けて

この日は、高校1,2年生を対象に、LHRで「ビブリオバトル」を行います。その事前準備として「ビブリオバトル」について知ってもらおうと、図書委員による公式ルールの紹介と過去の全国大会でチャンプ本になった生徒の発表を視聴してもらうため、iPadを使って高1は6/17の週に事前学習を実施しました。高2は7/7,8で実施する予定です。

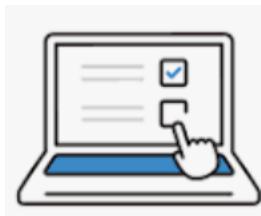
ビブリオバトルのやり方



(知的書評合戦ビブリオバトル公式サイトより)

宮崎県読書量調査の実施

毎年実施される読書量調査を今回は図書館クラスルームとGoogleフォームを使って行いました。事前に図書委員がクラスに呼びかけ、端末の準備と回答をお願いし実施してもらいましたが、なかなか苦戦。繰り返しの呼びかけは、本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。日々、クラスと図書館をつなぐ役割を担う図書委員、格闘しています。



新着図書から紹介

4月から現在までに入った本から抜粋して紹介します。

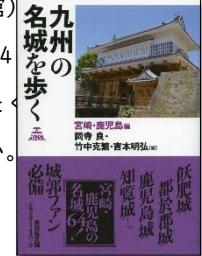
【哲学 100】

『わたしの主人公はわたし 他人の声に振りまわされない生き方』
細川貂々著（平凡社）
著者自身が自分を認め好きになるまでを綴ったエッセイ。



【歴史 200】

『九州の名城を歩く 宮崎・鹿児島編』
岡寺良ほか編（吉川弘文館）
両県から精選した名城64を交え、紹介。足を運びたく数々から当時を想像したい。城郭に興味のある人も、そうでない人も必見。



【社会科学 300】

『極北の人びと暮らし 気候・知恵・文化』(終風舎)
気候変動に常に適応しながら生きてきた極北の人びとの生活誌がここにある。



【自然科学 400】

『ぼっちのアリが死ぬ－昆虫研究の最前線』古藤日子（筑摩書房）ちくま新書
「すみっこはよくない。」という帯の言にページをめくると、著者の研究動機、アリの生活史、孤立アリの末路、原因はすみっこ行動、アリから社会と健康を学ぶ。

【言語 800】

『大阪ことばの謎』金水敏（SBクリエイティブ）
明治時代の標準語成立後もなお、コテコテの大阪弁が強い存在感を保っているのはなぜか？その謎に迫る笑いの一冊。



【文学 900】

『火明かり ゲド戦記 別冊』(岩波書店)
アーシュラ・K. ル＝グワイン
シリーズ1作目から50年ぶりに日の目をみた本作は、作家没後に公表。エッセイ、講演、短編が収録。表題は、ゲドのその後。

